

東京大学公開講座

ホネ—万物を架橋する—

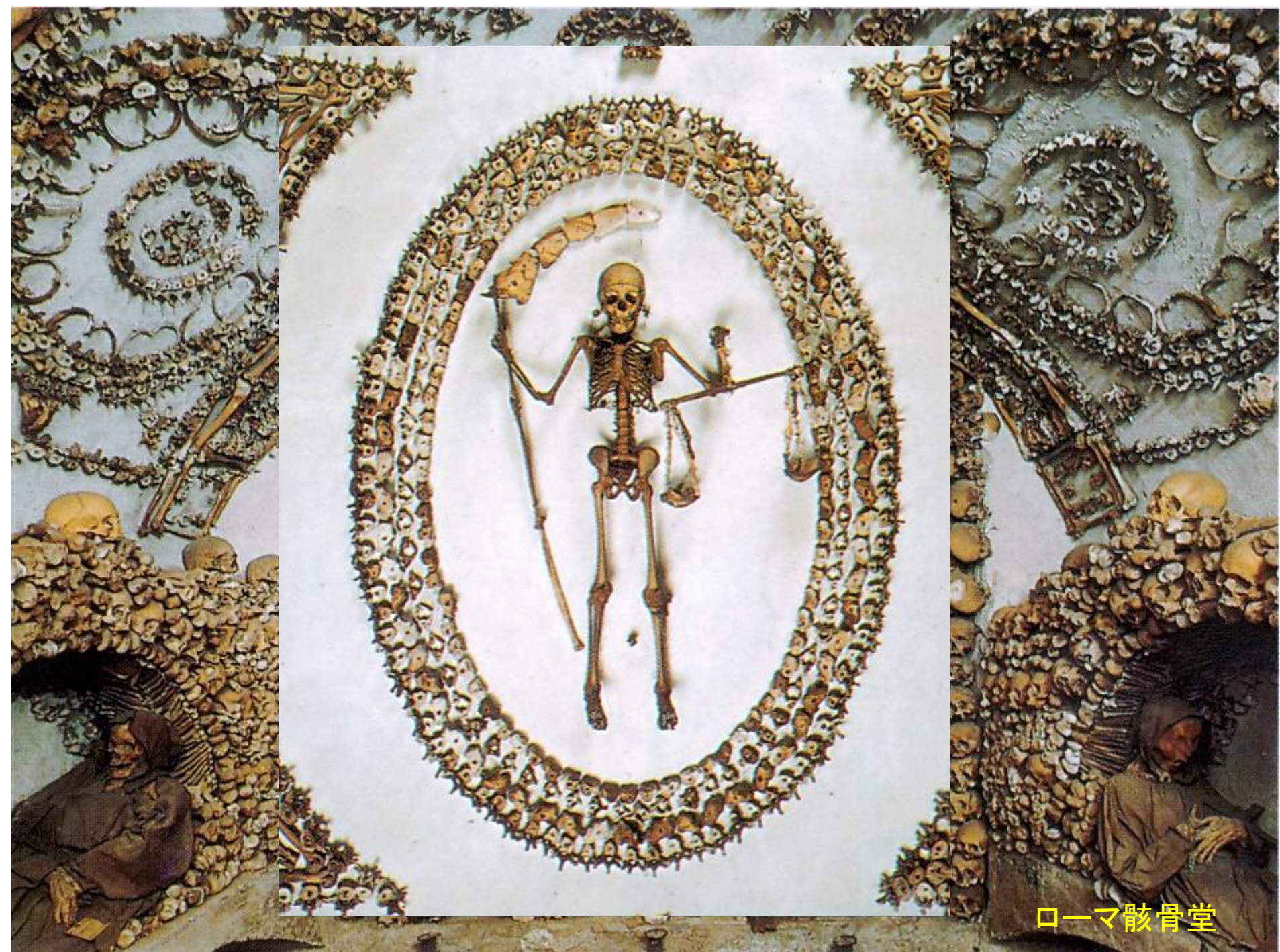
2010年10月23日 東京大学安田講堂

先史時代の人々は骨をどのように扱ったか
—再葬と祖先祭祀—

東京大学大学院人文社会系研究科

設楽博己

「※:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。」

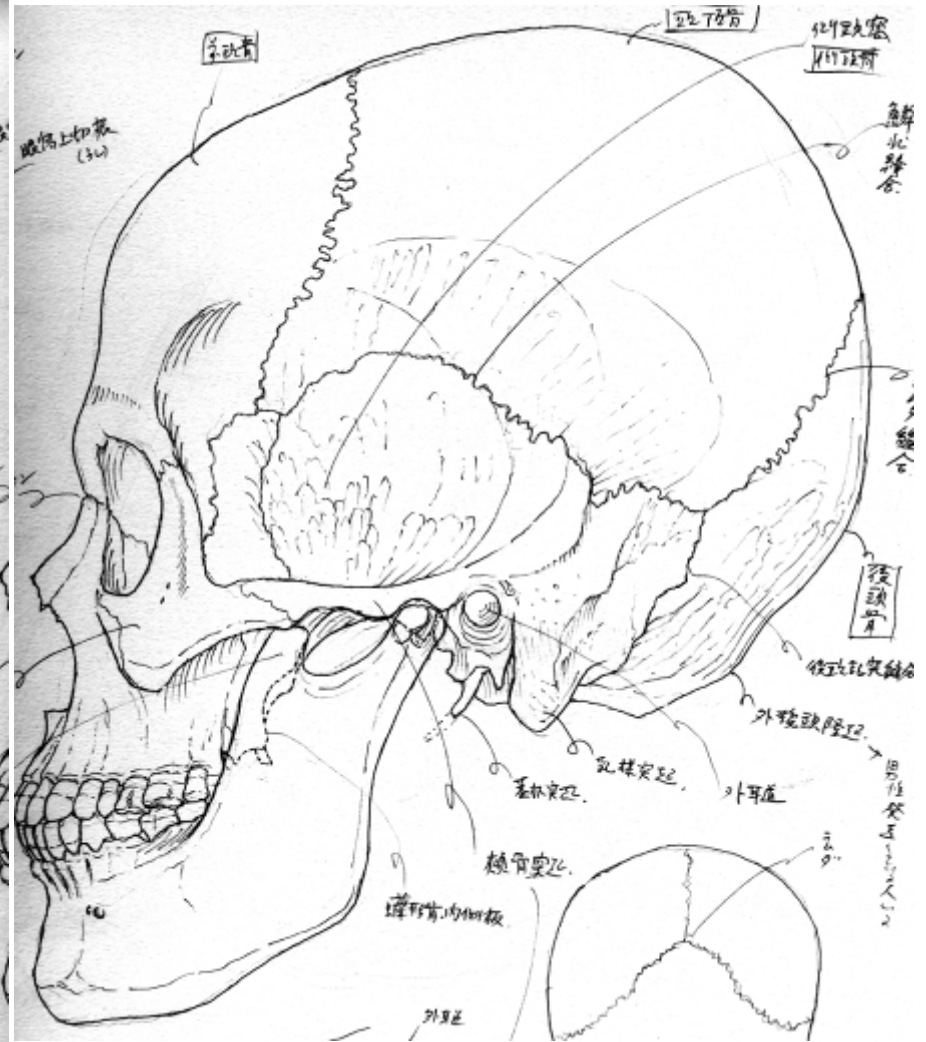
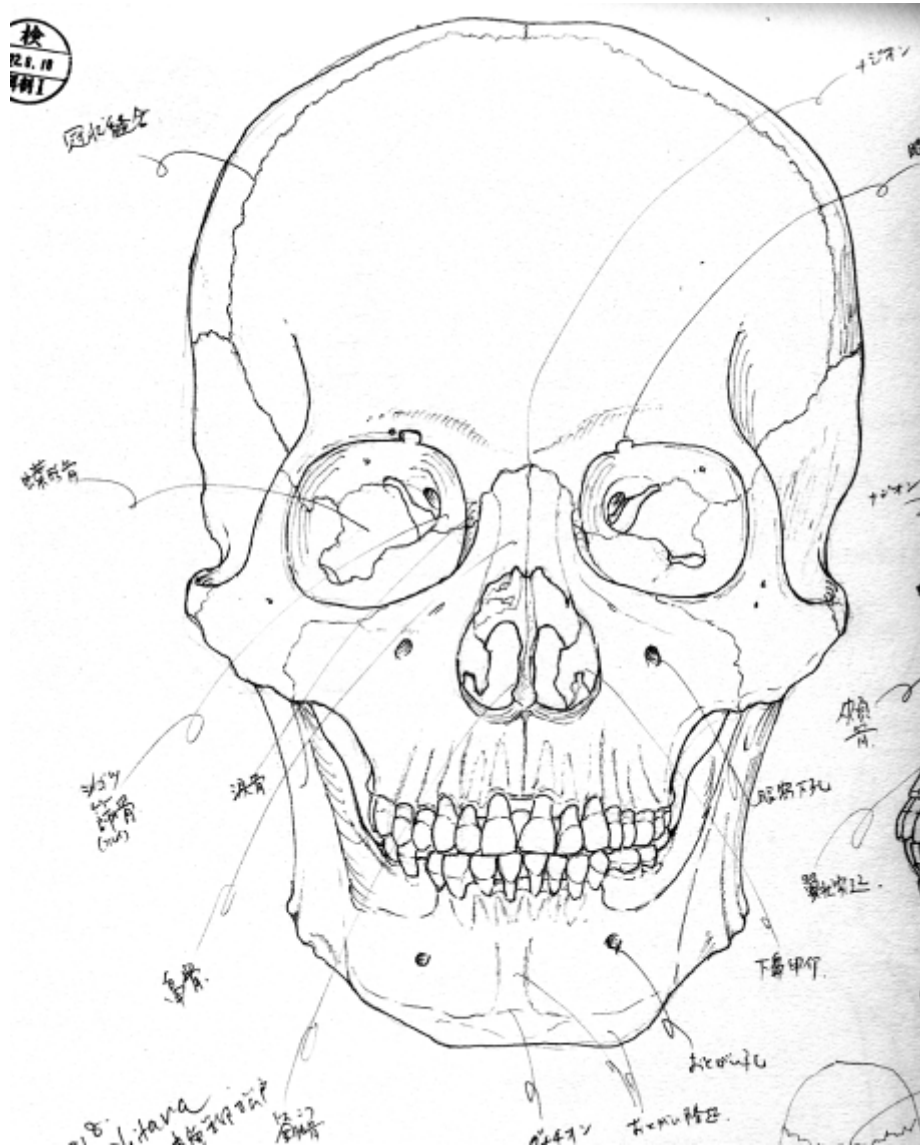


ローマ骸骨堂



人骨セミナー（日本大学松戸歯学部にて）

考古学の基礎—観察—



‡ 人骨セミナー(日本大学松戸歯学部にて)

修了書

設楽 博己 殿

あなたは日本大学松戸歯学部夏期骨学セミナーにおいて全課程を受講されましたのでこれを証します

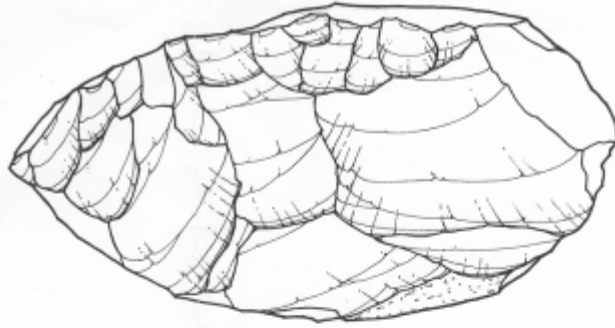
2010年8月20日

日本大学松戸歯学部夏期骨学セミナー責任者

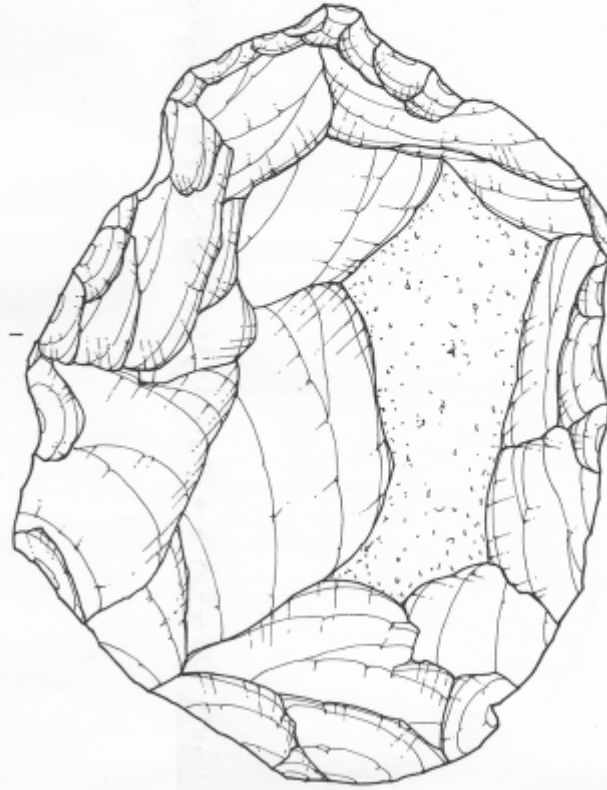
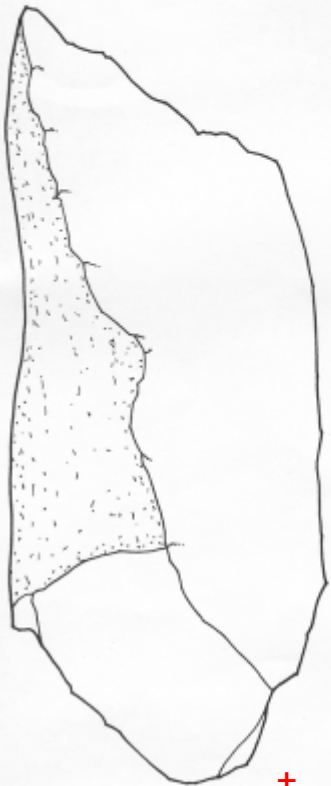
解剖人類形態学講座

教授 金澤英作

考古学の基礎—実測—



礫器(静岡県八丁平遺跡出土)

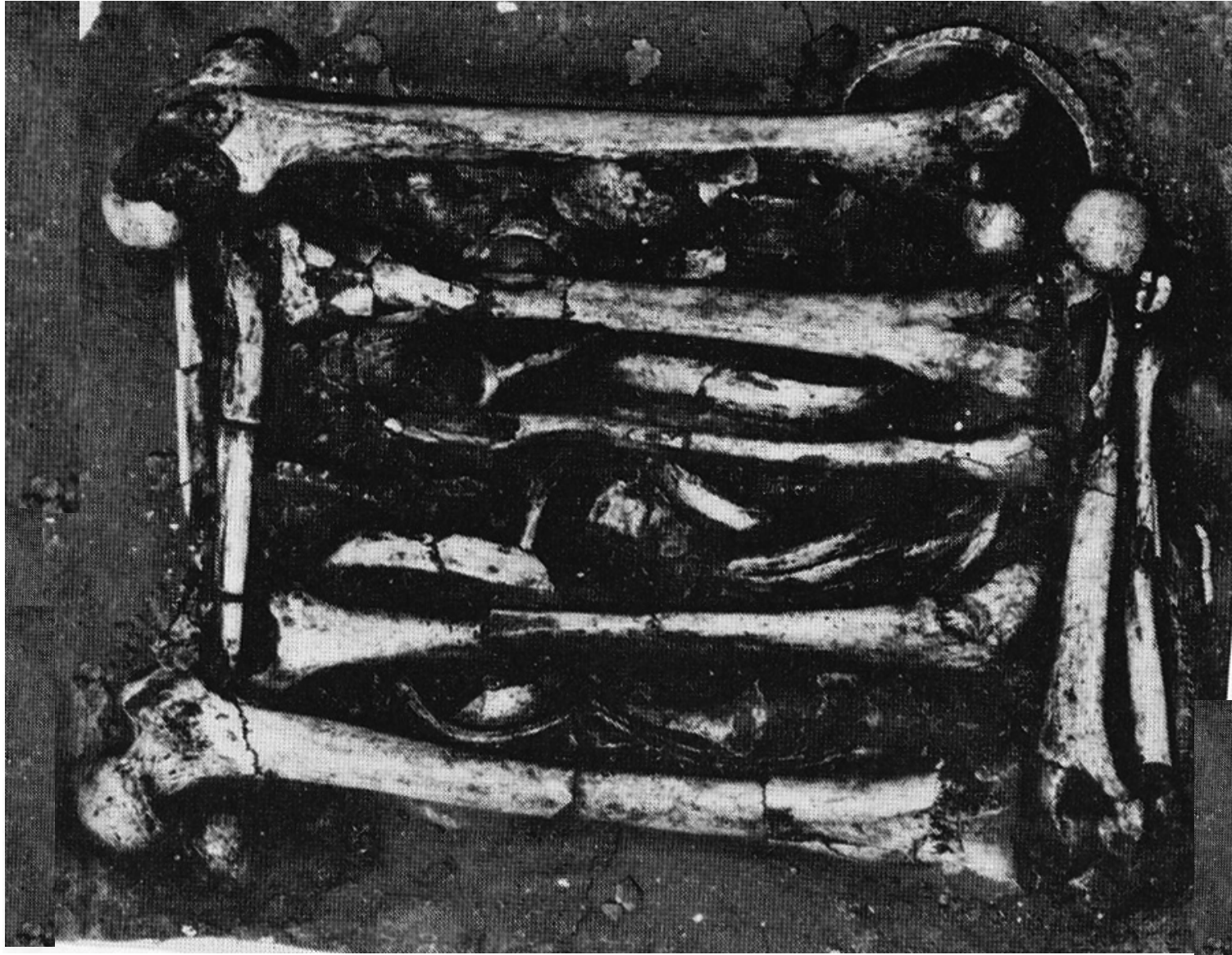


† 飯田茂雄実測

著作権の都合により、
ここに挿入されていた
「礫器」

の写真を削除しました。

考古学の基礎—発掘—



† 盤状集積人骨(愛知県本刈谷貝塚)名古屋市立博物館『東海の縄文時代』

東日本の縄文時代～弥生時代の年代

- 縄文時代

草創期(約16000～11700年前)

早期(約11700～7000年前)

前期(約7000～5500年前)

中期(約5500～4500年前)

後期(約4500～3200年前)

晩期(約3200～2450年前)

- 弥生時代

前期(約2450～2350年前)

中期(約2350～1950年前)

後期(約1950～1750年前)

弥生時代の再葬

—山の上の墓のなぞ—

山の上の岩陰遺跡

群馬県岩櫃山遺跡



※ 国立歴史民俗博物館『新弥生紀行』

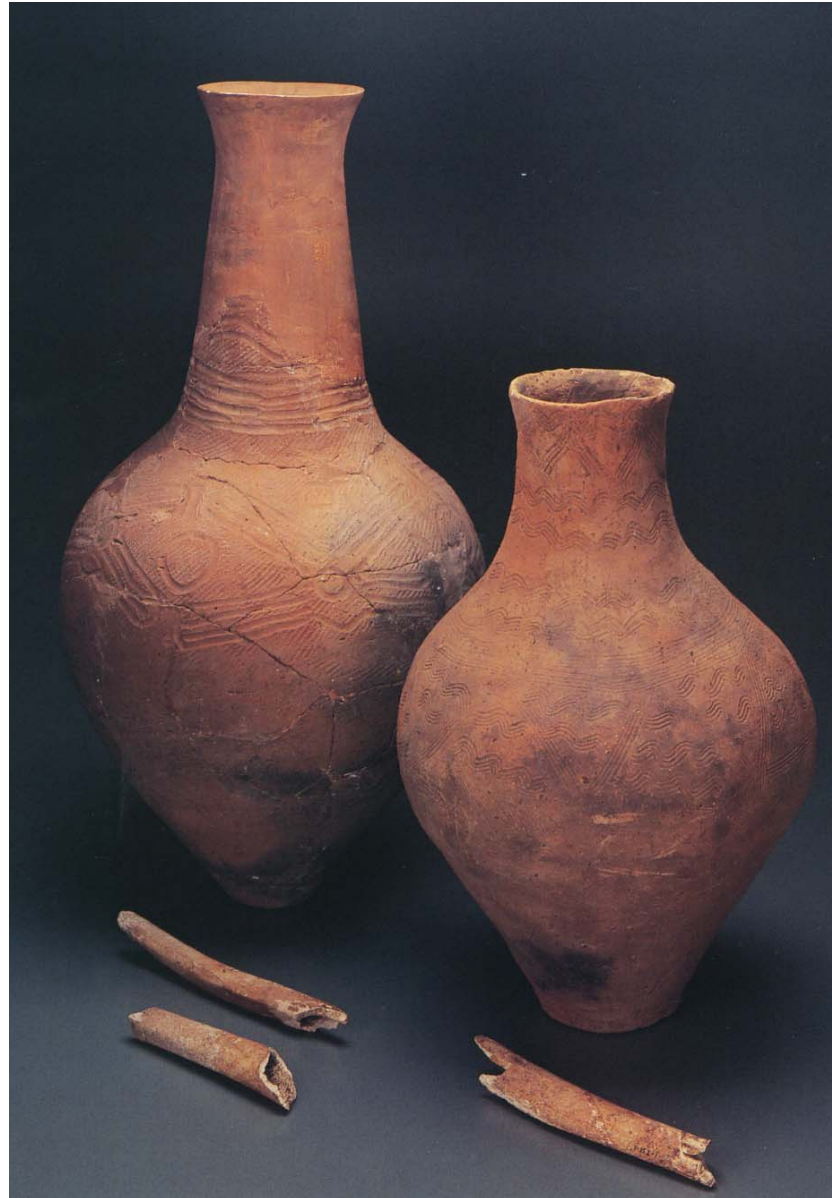
岩陰の墓

岩櫃山遺跡の土器



国立歴史民俗博物館『新弥生紀行』

再葬墓の骨を納めた壺



国立歴史民俗博物館
『新弥生紀行』

千葉県天神前遺跡の壺と人骨

顔のついた蔵骨器



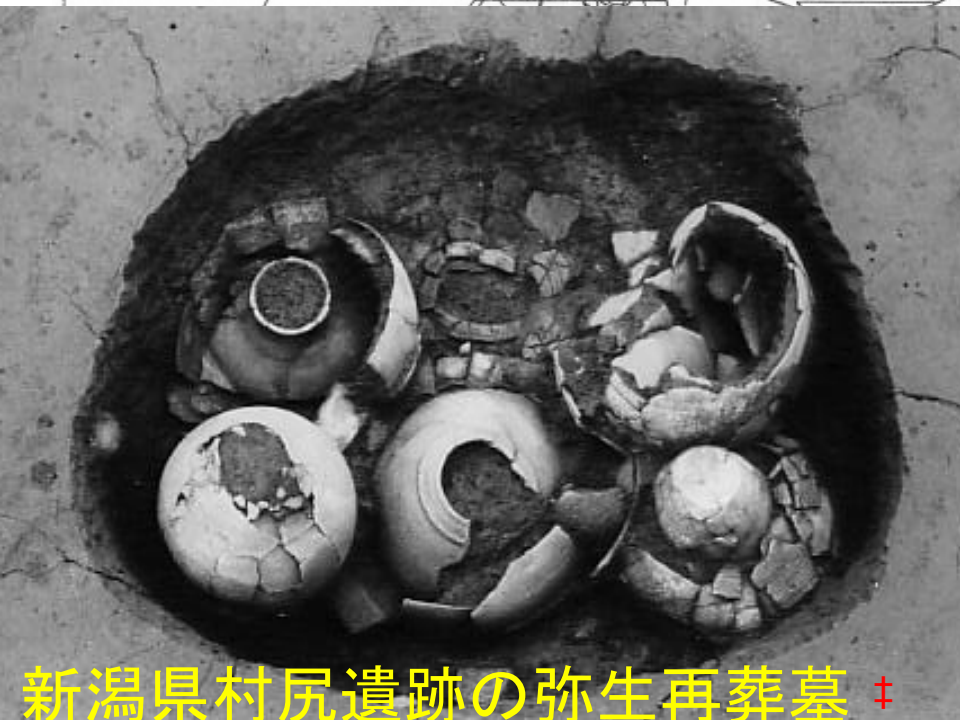
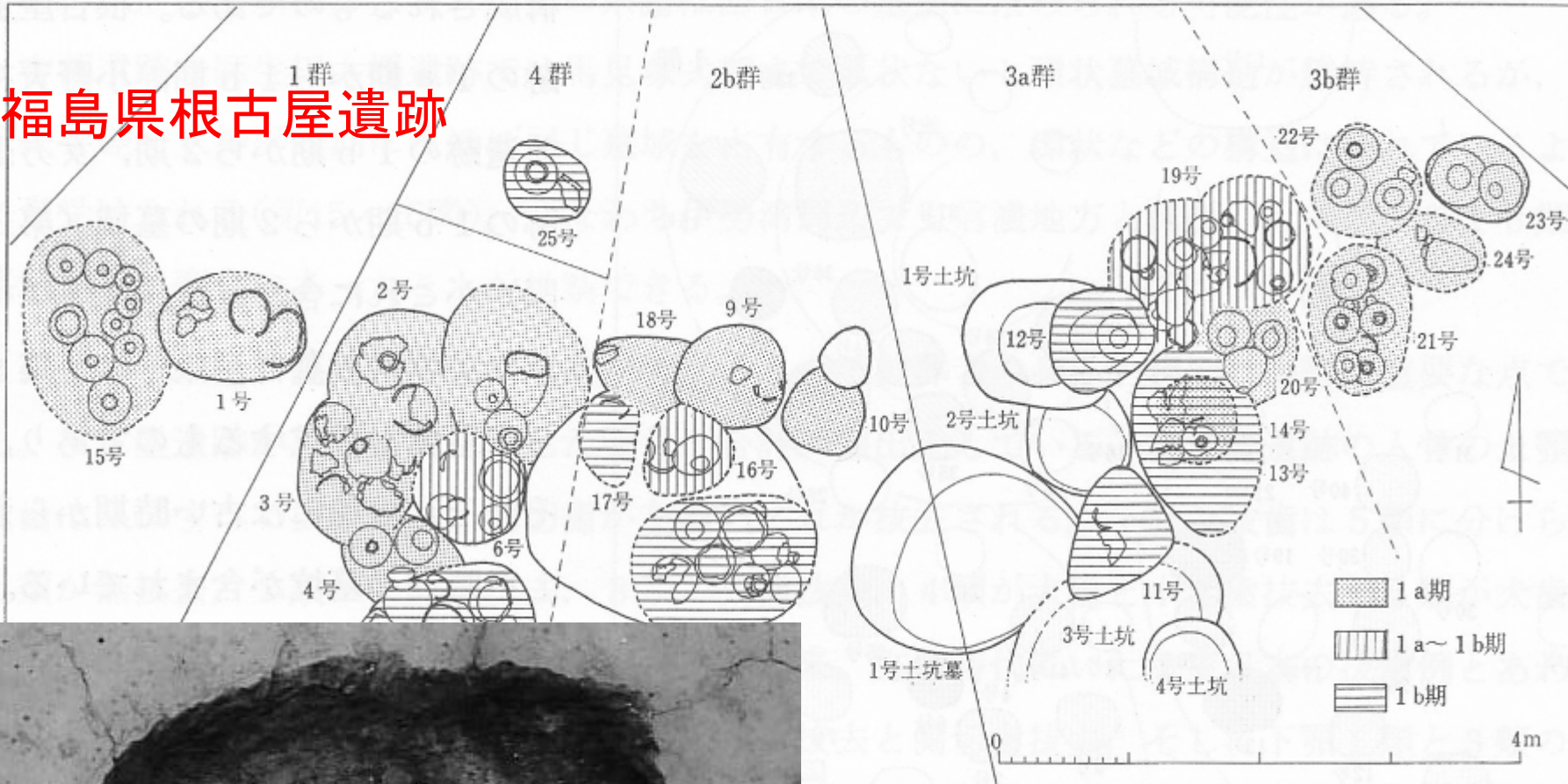
土偶形容器(山梨県岡遺跡)

顔壺(茨城県女方遺跡)

著作権の都合により、
ここに挿入されていた
「顔壺」
の写真を削除しました。

国立歴史民俗博物館『新弥生紀行』
学習研究社『大地と呪術』

福島県根古屋遺跡



弥生再葬墓 の墓域構成

設楽博己「壺棺再葬墓の起源
と展開」『考古学雑誌』79-4

新発田市教育委員会『村尻遺跡』

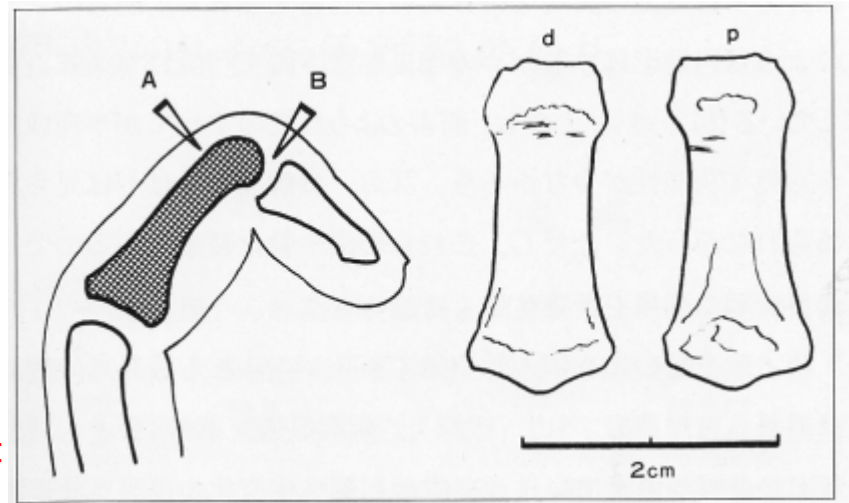
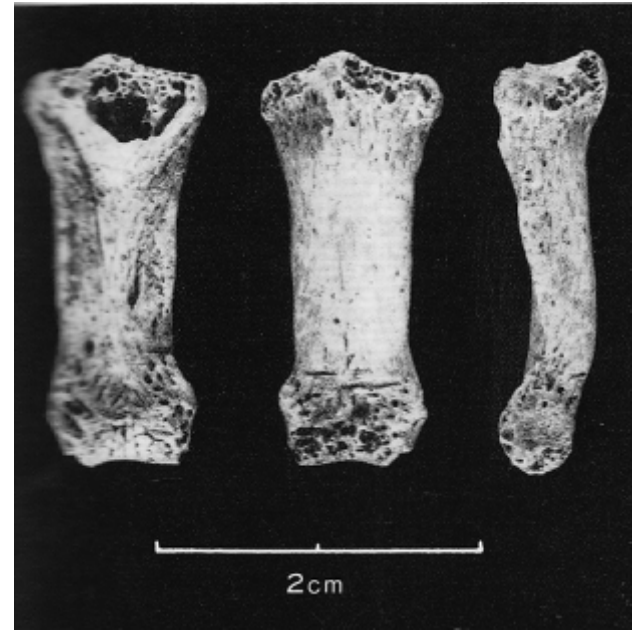
新潟県村尻遺跡の弥生再葬墓

再葬墓



◆ 霊山根古屋遺跡調査団
『霊山根古屋遺跡の研究』

弥生再葬墓の人骨



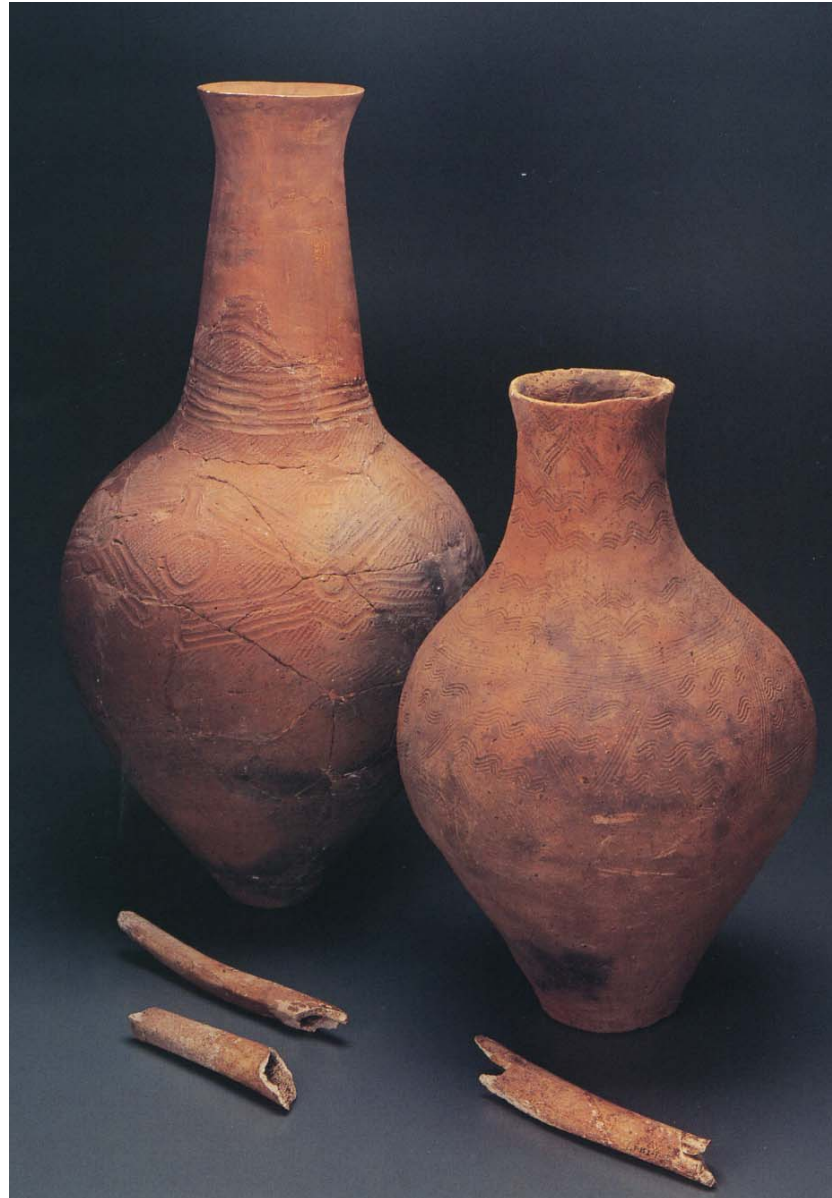
人の骨と歯でつくったペンダント



群馬県八束脛洞窟遺跡

† 旺文社『図説検証原像日本』2

再葬墓の骨を納めた壺

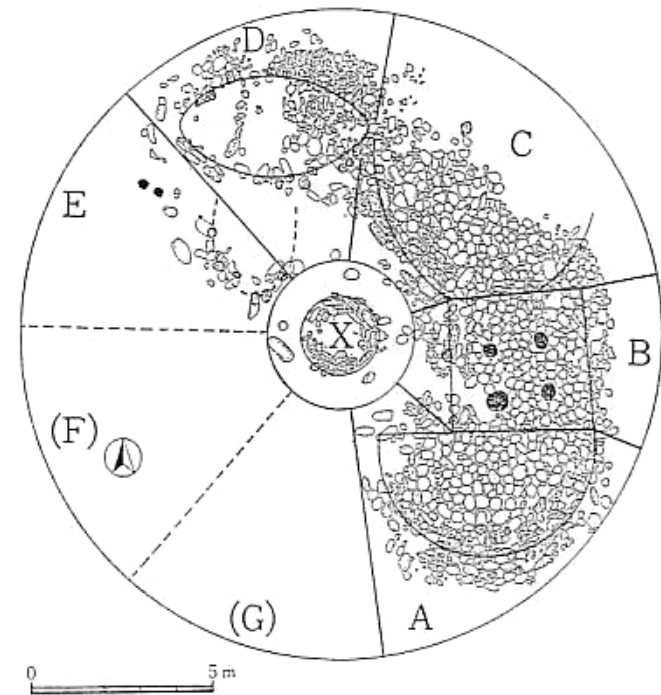


国立歴史民俗博物館
『新弥生紀行』

千葉県天神前遺
跡の壺と人骨

+

縄文時代の再葬



‡ 焼人骨を納めた配石墓
(新潟県寺地遺跡)

縄文時代の再葬 (晩期)

‡ 新潟県青海町『史跡寺地遺跡』

縄文時代の再葬（後期前半）



101体の合葬墓(茨城県中妻貝塚)

✚ 取手市教育委員会『中妻貝塚』

縄文時代の再葬（後期初頭）



†

柱穴のある墓（千葉県権現原貝塚）

渡辺新『縄文時代の人口構造』

計画的な環状集落



+



+

貯蔵穴 竪穴住居 平地建物

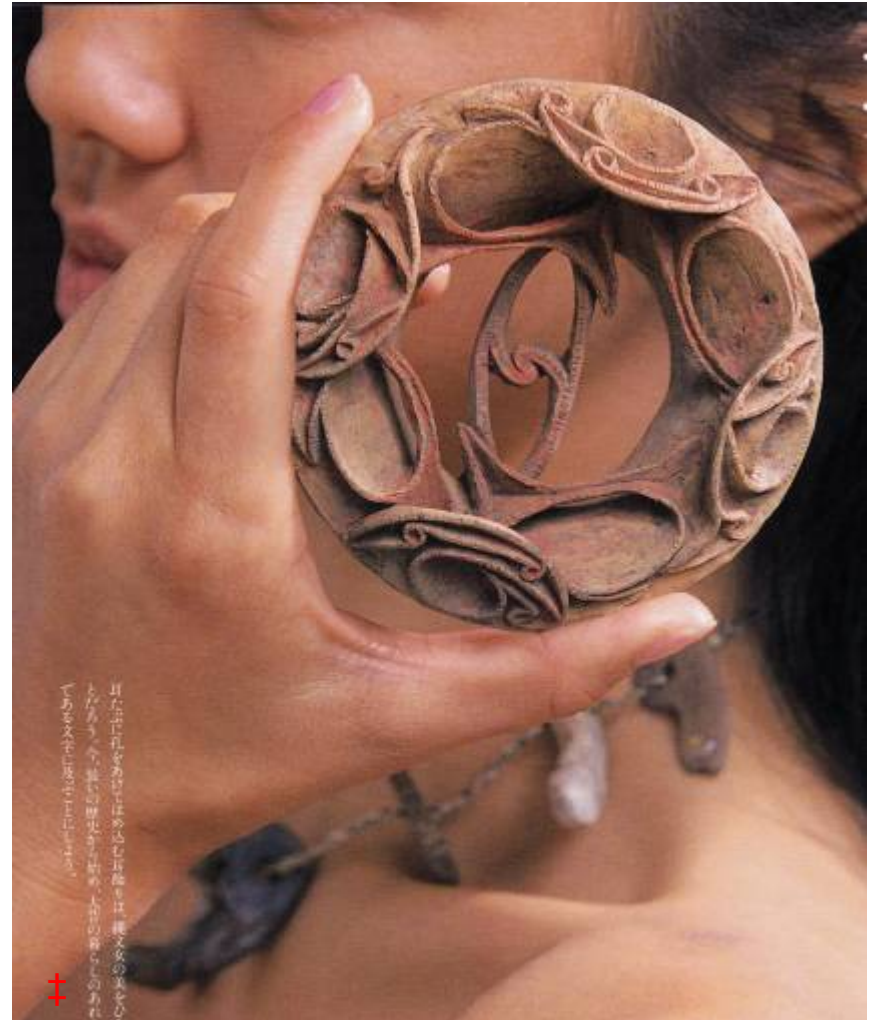
縄文中期の環状集落(岩手県西田遺跡)

旺文社『図説検証原像日本』2

縄文時代の 通過儀礼

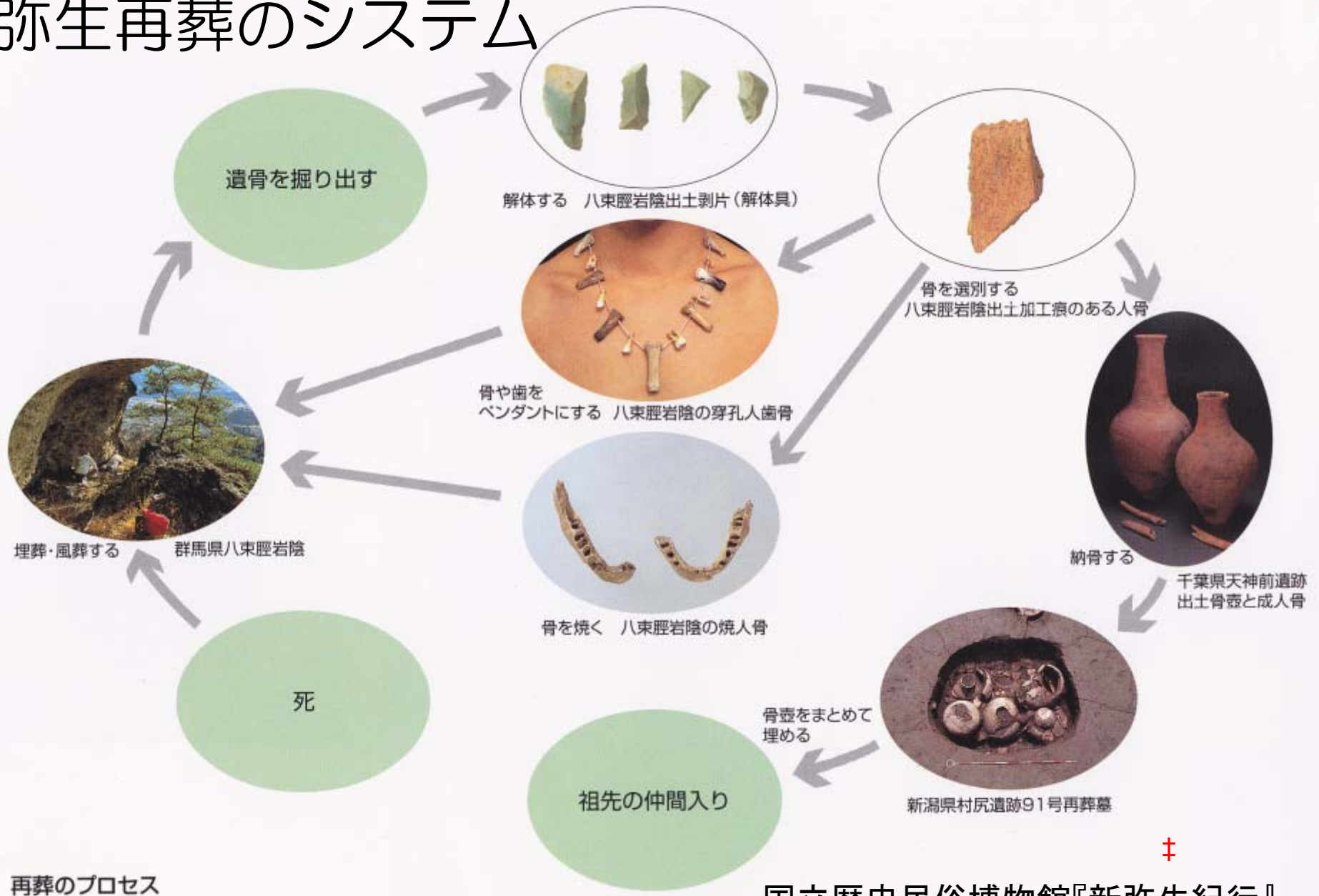


叉状研齒(愛知県伊川津貝塚)と
土製耳飾り(群馬県千網ヶ谷戸遺跡)



旺文社『図説検証原像日本』2
愛知県『愛知県史 資料編1』

弥生再葬のシステム



+

- 山の上の墓のなぞ
- 焼け骨と人骨ペンダントのなぞ
- 顔のついた蔵骨器の意味
- 一つの墓のなかに蔵骨器が複数ある
- 複数の遺骨を納めた墓がある



通過儀礼と祖先祭祀・再生

再葬の背景

縄文時代～弥生時代の再葬

- 縄文時代

中期（約5500～4500年前）

中期末～後期前半

房総

青森

後期（約4500～3200年前）

晩期（約3200～2450年前）

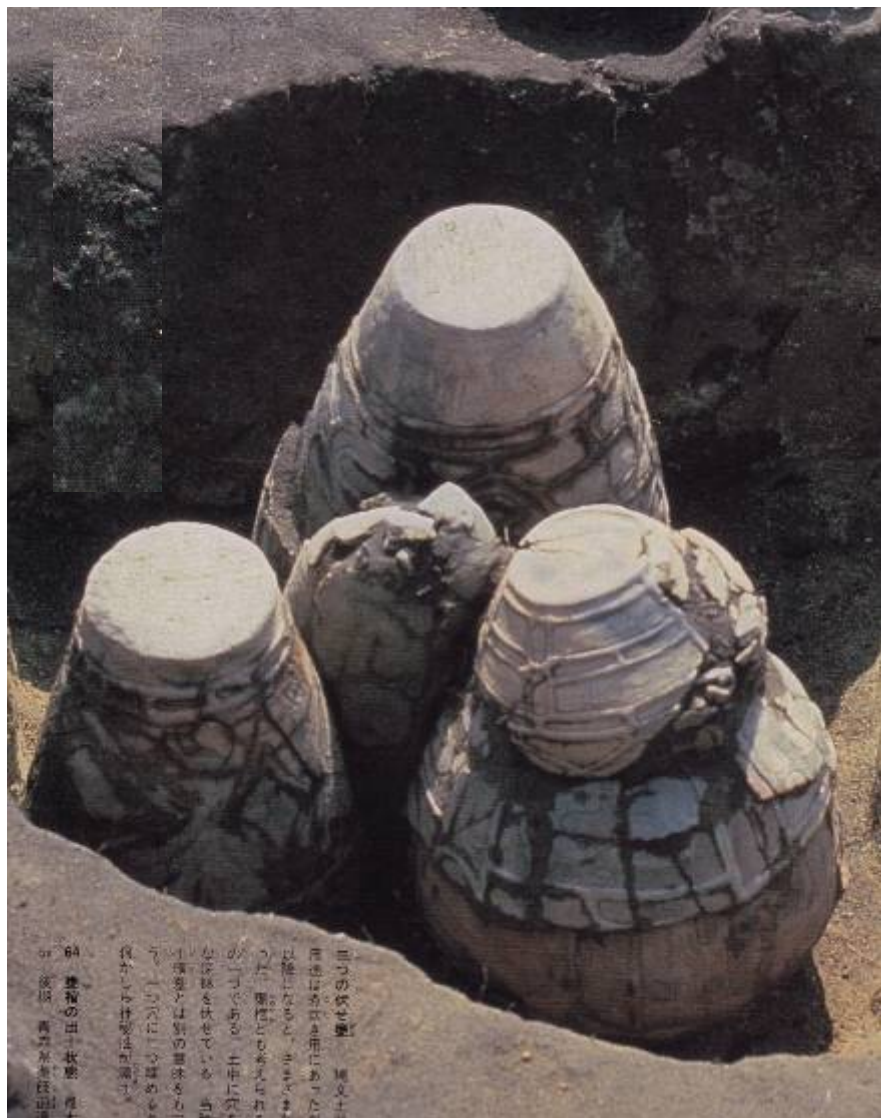
中部

- 弥生時代

前期（約2450～2350年前） 中部～南東北

中期（約2350～1950年前） 中部～南東北

縄文時代の再葬（後期）



再葬墓を見る喜田貞吉 † 『歴史地理』63-6、85頁



† 講談社『古代史復元』3

† 土器再葬墓（青森県薬師前遺跡）

縄文時代～弥生時代の再葬

- 縄文時代

中期（約5500～4500年前）

中期末～後期前半

房総

青森

後期（約4500～3200年前）

晩期（約3200～2450年前）

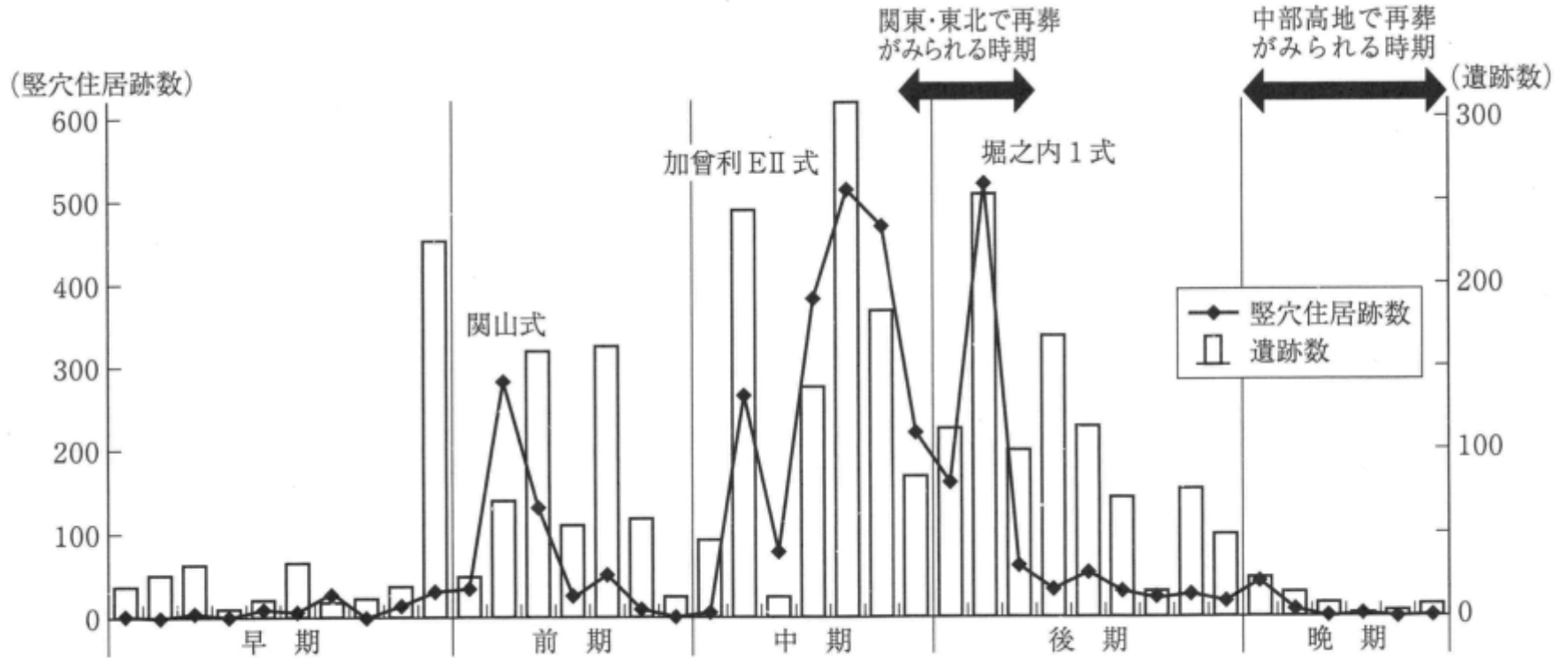
中部

- 弥生時代

前期（約2450～2350年前） 中部～南東北

中期（約2350～1950年前） 中部～南東北

京葉地方の人口の増減と再葬とのかかわり



京葉地方東京湾東岸(船橋・市川・松戸・鎌ヶ谷・千葉・市原市)の縄文時代遺跡数と竪穴住居跡数の変動

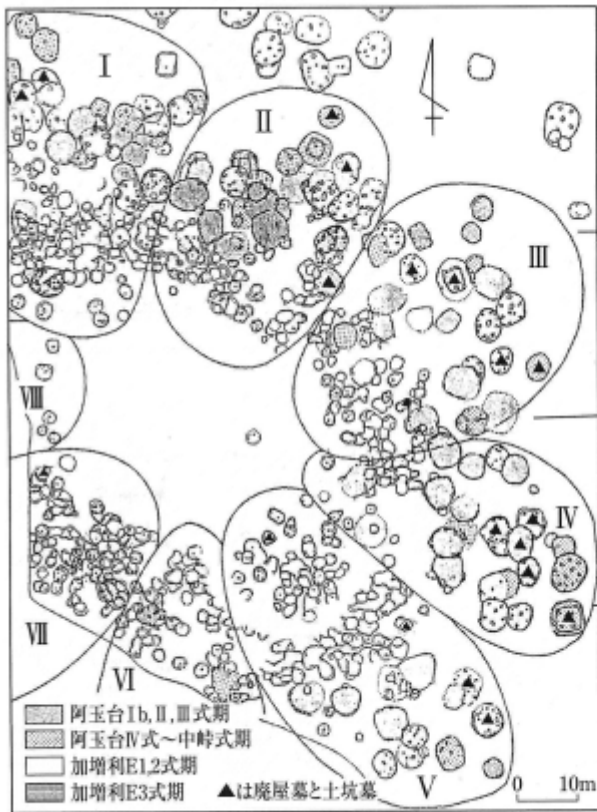
環状の墓地



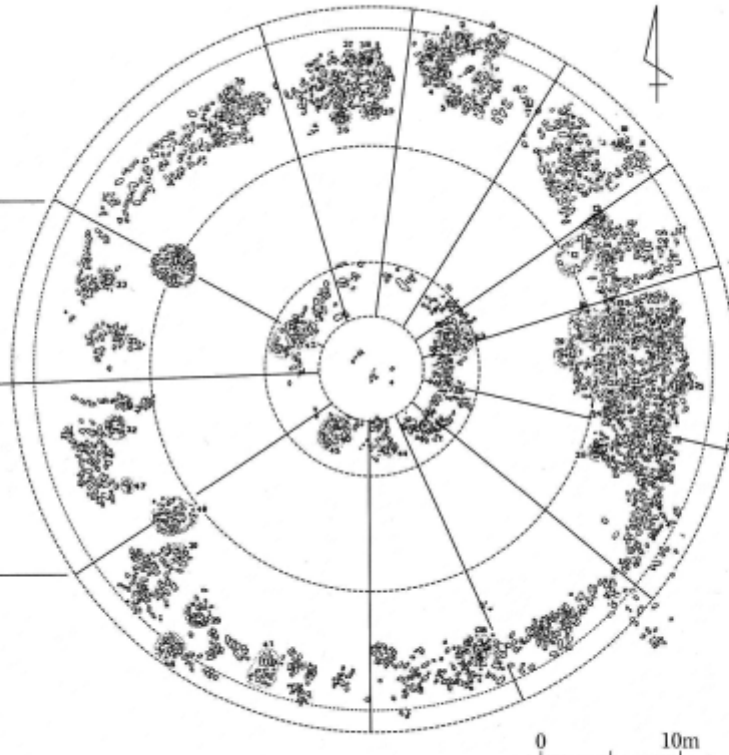
環状列石（秋田県大湯遺跡）

新泉社『石に込めた縄文人の祈り・大湯環状列石』

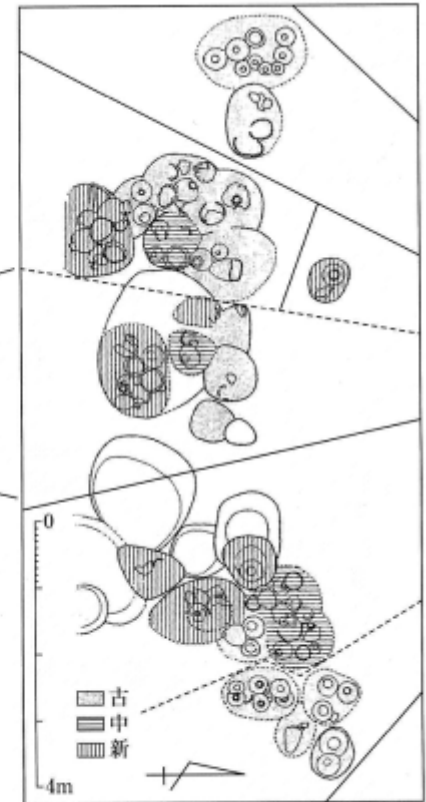
集落と墓地の共通性



1 千葉県草刈の集落(縄文中期)



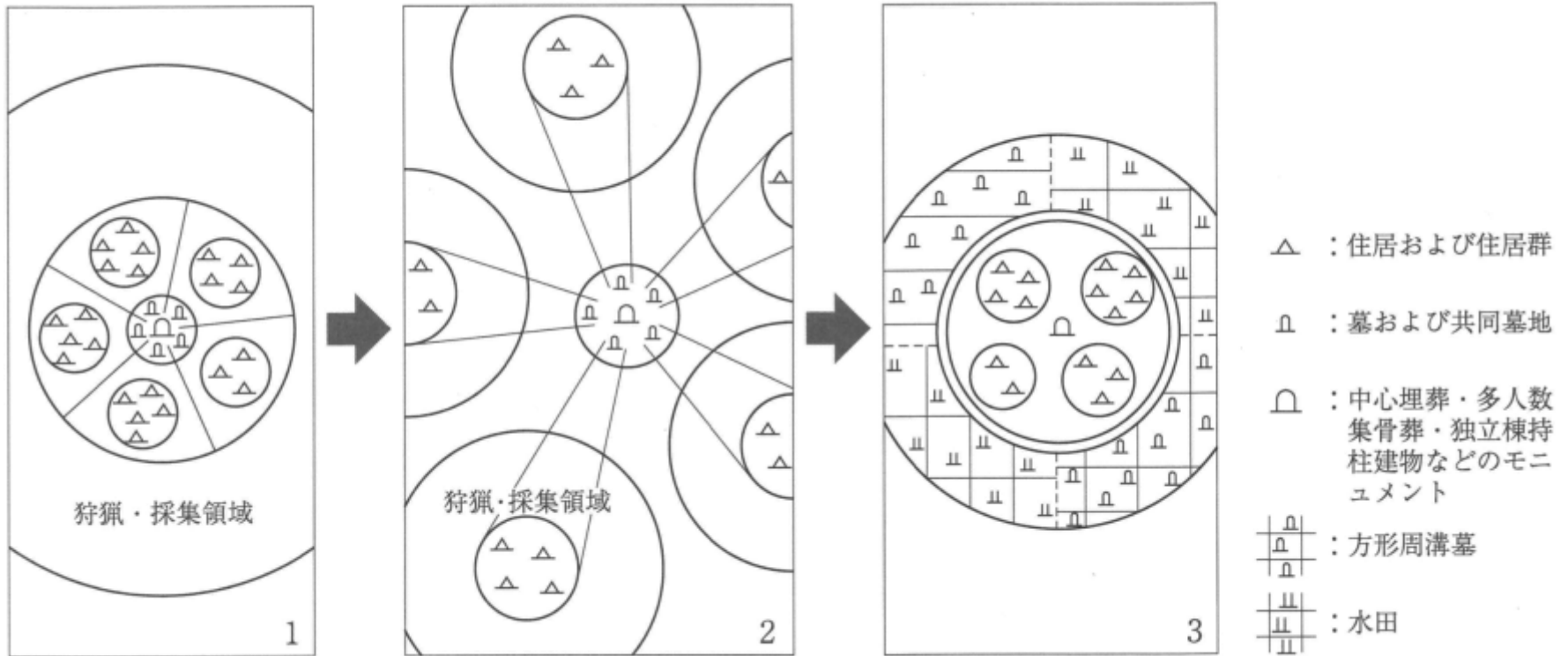
2 秋田県大湯万座の環状列石(縄文後期)



3 福島県根古屋の再葬墓(弥生前期)

‡ 大阪府立弥生文化博物館『東海の弥生フロンティア』

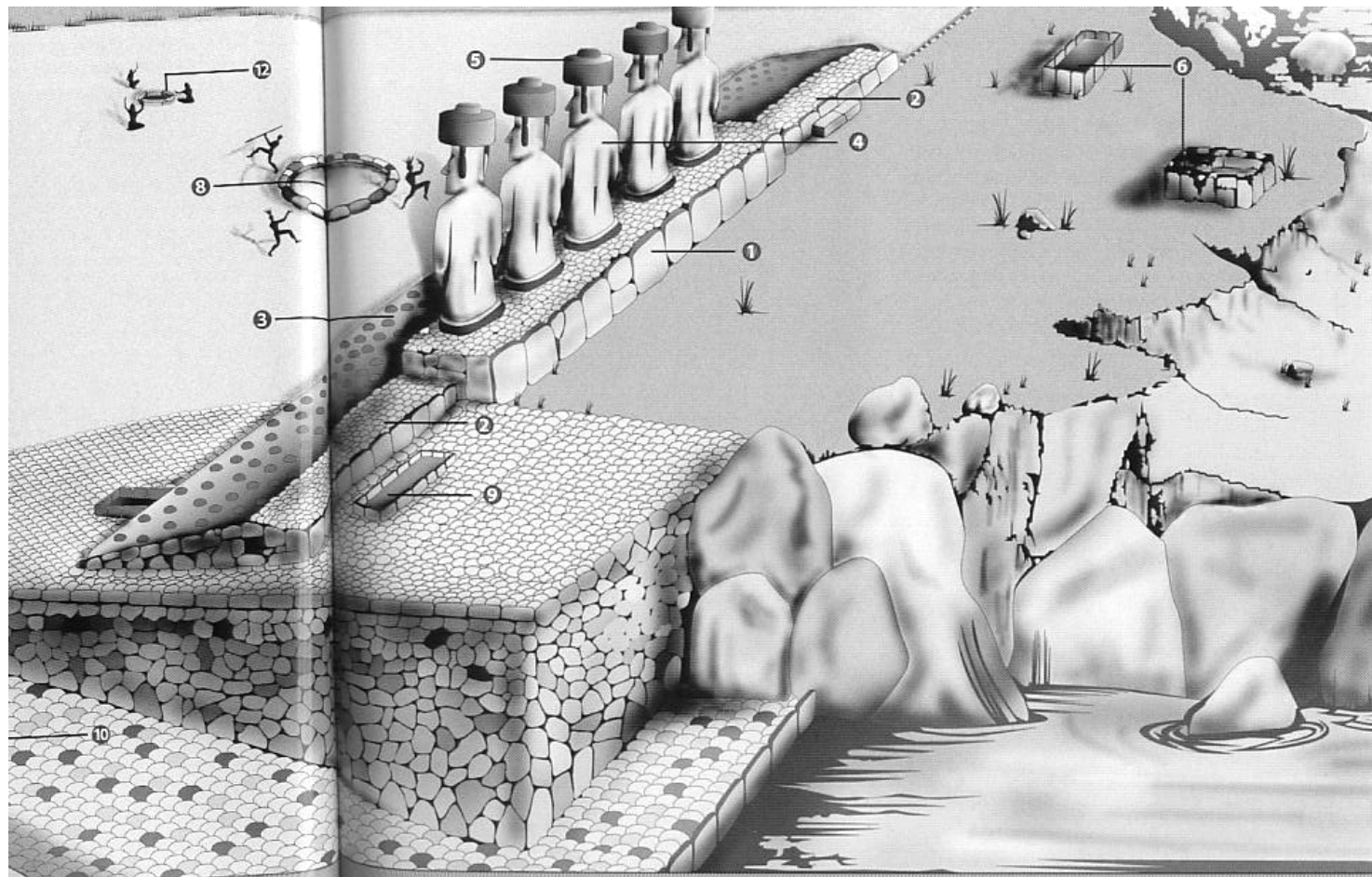
大型集落の分散化



モアイのナゾ



モアイのナゾその2



orm: Sloped ramp, paved with boulders or
 nage.
 ddress.
 remation pit or funeral crypt.
 anade used for meetings and ceremonial of

- 8 **Ceremonial Circle:** Located in the Main Plaza, used for religious rites and rituals.
- 9 **Avanga:** Some Ahu had rectangular funeral crypts embedded in the back wall, which were used for depositing the remains of burnt bones.
- 10 **Canoe Ramp:** Some harbors close to Ahu were equipped with

- 11 **Pila:** Stone vessel used for collecting rainwater.
- 12 **Umu Pae:** Cooking oven; hearth protected by buried boulders.
- 13 **Aka Veŋa:** Race on foot, candidates carried bunches of bananas or gourds of water on their shoulders.
- 14 **Hare Paenga:** Boathouse.